

可児市春里小キッズクラブ 個別施設計画

令和2年12月

(令和7年10月改訂)

可児市こども健康部保育課

目次

1	目的と位置づけ	1
(1)	目的	1
(2)	位置づけ	1
2	計画期間	1
3	対象施設	1
4	施設の現状と課題	1
(1)	現状	1
(2)	課題	2
5	今後の方向性	2
6	施設の劣化状況	3
7	施設の日常点検	3
8	対策の優先順位の考え方	3
9	対策内容と実施時期	3

1 目的と位置づけ

(1) 目的

本計画は、可児市公共施設等マネジメント基本方針（以下「基本方針」という。）および可児市公共施設等マネジメント基本計画（以下「基本計画」という。）に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、点検・診断により得られた個別施設の状態や、維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定め、長期的な視点から財政負担の軽減・平準化を図りながら老朽化対策等に取り組むために定めます。

(2) 位置づけ

本計画は国のインフラ長寿命化基本計画（平成 25 年 11 月「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」で決定）に基づく個別施設計画として位置づけます。

また、可児市公共施設等総合管理計画（基本方針及び基本計画）の下位計画に位置づけます。

2 計画期間

本計画の期間は、令和 3 年度（2021 年度）から令和 12 年度（2030 年度）までの 10 年間とします。

計画の達成状況を踏まえて、本計画は 5 年を目安に見直しを行うものとします。

なお、計画期間内であっても、社会情勢による状況の変化、事業の進捗状況等に応じ計画の見直しを行うこととします。

3 対象施設

本計画の対象施設は、以下の施設とします。

番号	施設名	所在地	敷地面積	延床面積
1	春里小キッズクラブ	塩 642-1	学校敷地内	79.27 m ²

4 施設の現状と課題

(1) 現状

ア 施設概要（ソフト面）

施設の設置目的	小学校に就学している児童で、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図るため。
施設の構成	保育室
施設で行われる事務サービスの内容	放課後児童支援員の認定資格があるもの等が、児童を預かり、遊びやおやつを提供する。 ○開室時間 平日 放課後から午後 6 時 30 分まで 長期休暇期間・振替休業日 午前 7 時 30 分から午後 6 時 30 分まで ○休室日 土曜日、日曜日、祝休日及び年末年始（12 月 29 日～翌年の 1 月 3 日）

料金体系（時間当たり）	○通年利用
	平日のみ・・・月額 5,000 円
	平日及び土曜日・・・月額 7,000 円
	○長期休暇利用
	春休み 4 月・・・1,800 円
	夏休み・・・10,000 円
冬休み・・・1,400 円	
	春休み 3 月・・・1,400 円

イ 施設概要（ハード面）

施設名称	建築年度	構造	階層数	屋根	外壁	耐震状況
春里小キッズクラブ	H16	S	1	金属	サイディング	新耐震

※構造 S=鉄骨造

ウ 施設の利用状況

入室児童数の推移（毎年4月1日）

年度	入室児童数		
	通年利用	長期休暇利用	計
R3	56 人	15 人	71 人
R4	53 人	19 人	72 人
R5	57 人	14 人	71 人
R6	63 人	26 人	89 人
R7	67 人	14 人	81 人

(2) 課題

○施設目的と利用実態

放課後児童健全育成事業を実施する施設で、小学校児童の遊びや生活の場となります。入室児童を専用施設と学校教室を利用し保育していますが、入室希望者は横ばい状況です。

5 今後の方向性

○今後の利用見込み等

春里小学校は、児童数が減少傾向にあるものの、キッズクラブ入室希望者は横ばいを見込んでいます。学校の余裕教室の活用について教育委員会と引き続き協議を行います。

○学校建替え時にはキッズクラブを複合

学校の建替え時にはキッズクラブ機能を学校に複合することを検討していきます。

6 施設の劣化状況

建物内部、屋根、外壁について部位ごとの目視による確認を基本とし、部分的に触手及び打診調査を実施しました。

○建物の劣化状況の評価の定義

劣化度	評価基準
A	概ね良好。特に修繕上問題となる事項なし。
B	部分的な劣化が見られる。経過観察または修繕対応。
C	広範囲に劣化が見られる。5年以内に改修が必要。
D	劣化の程度が大きく、早急な対応が必要。
—	点検対象外。

○施設別項目別劣化状況

名称	劣化状況					
	屋根	外壁	内部	電気	給排水	空調
春里小キッズクラブ	A	A	A	A	A	A

7 施設の日常点検

施設利用者の安全確保、施設の予防保全による長寿命化のため、施設の日常点検（自主点検、法令点検、定期点検）を行います。点検において確認された不具合等については、履歴として記録し、以後に、修繕、改修を行う際や個別施設計画を見直す際に、考慮します。

8 対策の優先順位の考え方

利用者の安全性確保に係る改修を最優先とし、個別施設の劣化状況、各施設の利用状況、今後の方向性等を勘案し、総合的に判断します。

9 対策内容と実施時期

対象施設における今後の対策時期、内容、費用を算出しました。

費用は本計画策定時点における概算であり、工事発注時における詳細な設計や今後の災害発生等の状況、社会情勢の変化により、変動が生じる場合があります。

対策時期についても、本市の財政状況等により、変動が生じる場合があります。

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容		空調		空調					屋根		
費用	0	2,231	0	2,277	0	0	0	0	3,260	0	
年度計	0	2,231	0	2,277	0	0	0	0	3,260	0	3,260